

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

テクノロジーと公正の精神で、豊かさが循環する社会を創っていく。

業務粗利益
793億円経常利益
381億円ROE
17.5%口座数
825万口座

② 中長期の経営戦略

1. デジタルバンク事業強化

住宅ローン主力商品のB to B to Cプラットフォーム「かんたん住宅ローン」や保証付き投資用マンションローン提供で利便性向上。銀行代理店チャネル拡大で収益拡大。

3. THEMIX事業推進

2022年8月設立の株式会社テミクス・データで、顧客同意のもと金融データプラットフォームビジネスを展開。

2. BaaS事業の拡大

NEOBANK提携先22社との連携強化。口座あたり収益意識で稼働口座獲得促進。提携先のデータ活用で従来と異なるビジネスモデル確立。

4. IT技術活用と革新

API、AWS、生成AI等の先進技術導入。UI/UX高品質化と自社型AIで効率的な新価値創造。経費率改善で収益力強化。

③ 対処すべき課題

① 革新的ビジネスモデル構築

- ・ マイナス金利終焉で「金利がある世界」へ転換。従来の利鞘確保では利益成長が困難。
- ・ 大手銀行デジタルシフト加速と専門銀行間競争激化に対応。
- ・ BaaS事業やTHEMIX事業で新収益源構築。効率性追求で経費率改善。

② 安定した収益・顧客基盤確立

- ・ 住宅ローンは期待損失率0.014%と優良。販売チャネル拡大で残高積上げ。
- ・ コンシューマーローン新商品提供とマーケティング強化で収益力向上。
- ・ デビットカード等決済ビジネス拡充とFinTech領域取組で非金利収益拡大。

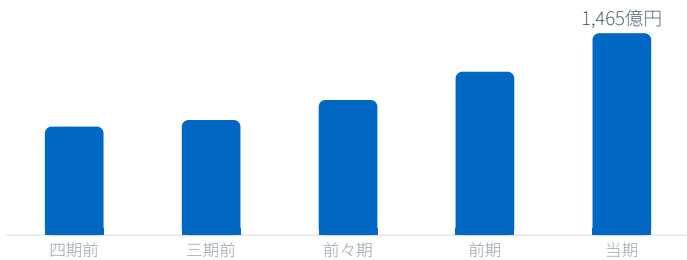
③ 経営管理態勢の高度化

- ・ 顧客基盤・総資産拡大と業務多様化に対応した管理態勢構築。
- ・ 金利リスク・流動性リスク・信用リスク管理の強化。
- ・ 口座不正利用・サイバー攻撃対策と銀行代理業者拡充時のリスク管理。

面で使えるポイント

- ・ マイナス金利政策終焉と金利上昇局面で、従来の預金貸出金利鞘から新規事業（BaaS・THEMIX）への転換を推進中。
- ・ NEOBANK提携先22社との協業やAPIクラウド生成AI活用で、銀行を超えた存在へ進化を目指す。
- ・ 住宅ローン期待損失率0.014%の優良な顧客基盤とAI審査モデルで、安定的成長と革新を両立。

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
1,465億円営業利益率
－（未開示）財務健康度
32点 / 100点

要するに

当社、連結子会社 7 社及び持分法適用関連会社 2 社
で構成され

主力事業・セグメント

- デジタル銀行 87.7%
- BaaS 12.3%

強み・特徴（公開データから）

- 連結売上高1,465億円の事業規模
- 将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 60.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
851万円平均年齢
39.0歳平均勤続
4.0年女性管理職
13.5%男性育休
100.0%

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

